

科目名	美容デザイン実習Ⅶ		Subject	Practice of Beauty Design Ⅶ				
サブタイトル	美容師国家試験実技課題							
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」					
開講年次	開講時期	必修／選択	DP 1 知識・技能	DP 2 主体的行動力	DP 3 課題解決能力	DP 4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	DP 5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	DP 6 美しく生きる力を実践できる能力
2 年	後期	選択						
授業形態	単位	時間						
実習	2 単位	60 時間	○	○	◎			
ゲストスピーカー招聘回	なし							
教員名	ヘアチーム			メールアドレス	hair@・・・			
教員の略歴	右記 URL より一覧を確認してください。【 https://www.yamano.ac.jp/study/teacher/ 】							
実践的教育	○ 美容師経験をもとに、美容師として必要な基礎的技術と衛生技術の習得に主眼を置いた内容としている。							
オフィスアワー	別途一覧をご確認ください。							

科目の概要								
美容師国家試験の合格に主眼を置き、美容師国家試験実技の第2課題であるノーパートオールウェーブセッティング（以下、「AW」と記す）もしくはワインディング（以下、「WD」と記す）において、さらなるスキルアップを図り、技術の流暢性（速さと正確性）の向上を目指す。併せて、美容師として必要な美容用具などの衛生上の正しい取り扱いについても徹底して実施していく。								
授業方法								
対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作			
○	－	－	あり	－	－			
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）								
ディプロマポリシー	授業の目標							
DP3	自己の技術および作品に対する課題を発見し、その改善方法を見出し実践することができる。							
DP1	国家試験合格レベルの技術力を徹底的に習得し、衛生面に配慮しながら実践できるようになる。							
DP2	自己の技術向上のために、何が必要で、何をすべきか考え、行動できる。							
教科書・教材								
教科書	『美容技術理論 1.2』日本理容美容教育センター（2026）、配布資料							
参考文献	なし							
各自準備教材	消耗品（ペーパー、トリートメント、ローション、ウェットティッシュ、ジッパー付ビニール袋、白タオル等）、スマートフォン、筆記用具							
評価方法								
筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
－	80%	10%	－	－	－	－	10%	－
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。								
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法								
個別に実地指導を行います。								
履修上の条件・注意								
2年次前期開講科目「美容デザイン論Ⅳ」および「美容デザイン実習Ⅳ」を単位修得した者のみ履修可能 美容技術を学ぶにあたり、遅刻、欠席はスキルアップに支障が出る為、原則認めません。また、そのために再度デモンストレーション等の時間は設けません。授業中の私語、勝手な退室等の不適切と思われる行為があった場合は、欠席と同等の扱いとします。 ※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。								
本科目履修と関連する資格								
なし								

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間(分)
第 1 回	オリエンテーション 美容師国家試験に必要な美容用具の準備	国家試験までの授業内容を予測できる 美容師国家試験に必要な美容用具を理解し、準備できる	必要な美容用具を配布資料等で再確認する。第 2 課題の反復練習を行う。	60 分以上
第 2 回	美容師国家試験第 2 課題の実践 ①美容師国家試験の準備時間について	必要な美容用具準備の手順に留意して準備時間内でセッティングができるようになる。	机上のセッティングについて配布資料等で再確認する。第 2 課題の反復練習を行う。	60 分以上
第 3 回	美容師国家試験第 2 課題の実践 ②美容師国家試験の準備時間の留意点	美容用具準備時間における衛生上の取り扱いを知り、留意してセッティングができる。第 2 課題を設定タイムに仕上げることができる。	準備時間の留意点を再確認する。第 2 課題の反復練習を行う。	60 分以上
第 4 回	美容師国家試験第 2 課題の実践 ③準備時間の実践における改善	美容用具準備時間における衛生上の取り扱いを実践する中で改善すべき点を発見できる。第 2 課題を設定タイムに仕上げることができる。	準備時間の改善すべき点を再確認する。第 2 課題の反復練習を行う。	60 分以上
第 5 回	美容師国家試験第 2 課題の実践 ④準備時間の実践	美容用具準備時間における衛生上の取り扱いに留意して、改善点を修正して準備できる。第 2 課題を設定タイムに仕上げることができる。	準備時間の改善すべき点を再確認する。第 2 課題の反復練習を行う。	60 分以上
第 6 回	美容師国家試験第 2 課題の実践 ⑤美容用具の使用法	第 2 課題の作成時間を通して、衛生上の取り扱いに留意した美容用具の使用法を述べるができるようになる。	美容用具の使用法について再確認する。第 2 課題の反復練習を行う。	60 分以上
第 7 回	美容師国家試験第 2 課題の実践 ⑥作成時間における美容用具使用の必要性	第 2 課題の作成時間を通して、衛生上の取り扱いに留意した美容用具の使用法の必要性を説明することができる。	美容用具の使用法について再確認する。第 2 課題の反復練習を行う。	60 分以上
第 8 回	美容師国家試験第 2 課題の実践 ⑦作成時間における衛生上の取り扱い	第 2 課題の作成時間を通して、衛生上の取り扱いに留意した美容用具の使用法を実践できる。	美容用具の使用法について再確認する。第 2 課題の反復練習を行う。	60 分以上
第 9 回	美容師国家試験第 2 課題の実践 ⑧作成時間における衛生上の取り扱いの改善	第 2 課題の作成時間を通して、衛生上の取り扱いに留意した美容用具の使用法の改善すべき点を発見できる。	美容用具の使用法について改善点を再確認する。第 2 課題の反復練習を行う。	60 分以上
第 10 回	美容師国家試験第 2 課題の実践 ⑨作成時間における衛生上の取り扱いの実践	第 2 課題の作成を通して、衛生上の取り扱いに留意して改善点を修正した美容用具の使用ができるようになる。	美容用具の使用法について改善点を再確認する。第 2 課題の反復練習を行う。	60 分以上
第 11 回	美容師国家試験第 2 課題の実践 ⑩作成時間における衛生上の取り扱いの向上	第 2 課題の作成を通して、衛生上の取り扱いに留意した美容用具の正しい使用が継続してできる。	美容用具の正しい使用法について再確認する。第 2 課題の反復練習を行う。	60 分以上
第 12 回	美容師国家試験第 2 課題の実践 ⑪作成終了後の衛生上の作業	衛生上の取り扱いに留意した美容用具の使用と第 2 課題の作成ができる。作成終了後の衛生上の作業を理解し、述べるができる。	作成終了後の衛生上の作業の再確認をする。第 2 課題を時間内に仕上げるため、反復練習を行う	60 分以上
第 13 回	美容師国家試験第 2 課題の実践 ⑫作成終了後の衛生上の作業の必要性	衛生上の取り扱いに留意した美容用具の使用と第 2 課題の作成ができる。作成終了後の衛生上の作業を通して必要性を説明できる。	作成終了後の衛生上の作業の再確認をする。第 2 課題を時間内に仕上げるため、反復練習を行う	60 分以上
第 14 回	美容師国家試験第 2 課題の実践 ⑬作成終了後の衛生上の作業の改善	衛生上の取り扱いに留意した美容用具の使用と第 2 課題の作成ができる。作成終了後の衛生上の作業を通して改善すべき点を発見できる。	作成終了後の衛生上の作業の改善点を再確認をする。第 2 課題を時間内に仕上げるため、反復練習を行う	60 分以上
第 15 回	美容師国家試験第 2 課題の実践 ⑭作成終了後の衛生上の作業の実践	衛生上の取り扱いに留意した美容用具の使用と第 2 課題の作成ができる。改善点を修正した作成終了後の衛生上の作業ができる。	作成終了後の衛生上の作業の改善点を再確認をする。第 2 課題を時間内に仕上げるため、反復練習を行う	60 分以上

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間(分)
第 16 回	美容師国家試験第 2 課題の実践 ⑮第 2 課題の構成の確認	美容用具・衛生上の取り扱いに留意しながら国家試験タイムで第 2 課題を実践できる。第 2 課題の構成についてポイントを述べるができる。	第 2 課題を時間内に正確に仕上げるため、反復練習を行う	60 分以上
第 17 回	美容師国家試験第 2 課題の実践 ⑯第 2 課題の構成への理解	美容用具・衛生上の取り扱いに留意しながら国家試験タイムで第 2 課題を実践できる。第 2 課題の構成についてポイントを説明できるようになる。	第 2 課題を時間内に正確に仕上げるため、反復練習を行う	60 分以上
第 18 回	美容用具・衛生上の取り扱いに注意しながら国家試験第 2 課題を実践する	美容用具・衛生上の取り扱いおよび第 2 課題の構成のポイントに留意して、国家試験タイムで第 2 課題を実践できる。	第 2 課題を時間内に正確に仕上げるため、反復練習を行う	60 分以上
第 19 回	美容用具・衛生上の取り扱いに注意した国家試験第 2 課題の実践と評価ポイントの理解	美容用具・衛生上の取り扱いおよび第 2 課題の構成のポイントに留意して作成する中で、作業手順に無駄がないか発見できる。	第 2 課題を時間内に正確に仕上げるため、反復練習を行う	60 分以上
第 20 回	美容用具・衛生上の取り扱いに注意しながら国家試験第 2 課題の時間短縮を図る ①作業手順の見直し	美容用具・衛生上の取り扱いおよび第 2 課題の構成のポイントに留意して作成する中で、作業手順に無駄がないか発見できる。	第 2 課題を時間内に正確に仕上げるため、作業手順を見直し反復練習を行う	60 分以上
第 21 回	美容用具・衛生上の取り扱いに注意しながら国家試験第 2 課題の時間短縮を図る ②作業手順の改善点を修正	美容用具・衛生上の取り扱いおよび第 2 課題の構成のポイントに留意して作成する中で、発見した改善点を修正し、国家試験タイムより 1 分早く作成する。	第 2 課題を時間内に正確に仕上げるため、作業手順を見直し反復練習を行う	60 分以上
第 22 回	美容用具・衛生上の取り扱いに注意しながら国家試験第 2 課題の時間短縮を図る ③時間短縮と正確性	美容用具・衛生上の取り扱いおよび第 2 課題の評価ポイントを理解した上で、国家試験タイムより 1 分早く正確に仕上げるができる	第 2 課題を時間内に正確に仕上げるため、作業手順を見直し反復練習を行う	60 分以上
第 23 回	試験当日を想定して国家試験第 2 課題を実践する ①流れの再確認	美容用具・衛生上の取り扱いおよび第 2 課題の評価ポイントを理解した上で、試験当日を想定した作業ができるようになる。	資料で第 2 課題の評価ポイントを再確認する。第 2 課題を時間内に正確に仕上げるため、反復練習を行う	60 分以上
第 24 回	試験当日を想定して国家試験第 2 課題を実践する ②起こりうるトラブル	試験当日を想定した作業の中で、起こりうるトラブルを述べるができる。第 2 課題を国家試験タイムより 1 分早く的確に仕上げるができる。	起こりうるトラブルを再確認する。第 2 課題を時間内に正確に仕上げるため、反復練習を行う	60 分以上
第 25 回	試験当日を想定して国家試験第 2 課題を実践する ③起こりうるトラブルの理解	試験当日を想定した作業の中で、起こりうるトラブルを説明することができるようになる。第 2 課題を国家試験タイムより 1 分早く的確に仕上げることができる。	起こりうるトラブルを再確認する。第 2 課題を時間内に正確に仕上げるため、反復練習を行う	60 分以上
第 26 回	試験当日を想定して国家試験第 2 課題を実践する ④起こりうるトラブルへの対処	試験当日を想定した作業の中で、起こりうるトラブルの対処方法を説明することができるようになる。第 2 課題を国家試験タイムより 1 分早く的確に仕上げることができる。	起こりうるトラブルを再確認する。第 2 課題を時間内に正確に仕上げるため、反復練習を行う	60 分以上
第 27 回	試験当日を想定して国家試験第 2 課題を実践する ⑤起こりうるトラブルへの対処の実践	試験当日を想定した作業の中で、起こりうるトラブルの対処を冷静に行うことが出見ようになる。第 2 課題を国家試験タイムより 1 分早く的確に仕上げるができる。	起こりうるトラブルを再確認する。第 2 課題を時間内に正確に仕上げるため、反復練習を行う	60 分以上
第 28 回	試験当日を想定して国家試験第 2 課題を実践する ⑥作業の熟練	試験当日を想定して、設定時間内で、正確に冷静に実践できる。	第 2 課題を時間内に正確に仕上げるため、反復練習を行う	60 分以上
第 29 回	試験当日を想定して国家試験第 2 課題を実践する ⑦作業の熟練	第 2 課題のそれぞれの作業の設定時間内で、完璧に実践できる。	第 2 課題を時間内に正確に仕上げるため、反復練習を行う	60 分以上
第 30 回	国家試験実技に対する諸注意及び準備 第 1, 2 課題総仕上げ	美容師に必要な衛生を理解し、実践することができる、設定時間内で正確な施術ができる	国家試験受験に向け、総復習する	60 分以上